

AND THEN
NOTHING
ADULT ONLY



はぁっ...

てーとくっ

何だか今日は...
激しいねっ...!

はぁっ

はぁ

メチャクチャ

面倒な執務が一つ
片付いたからな

これで暫くは
二人でゆっくり
できるぞ...



はぁ

はぁ

はぁ



勿論...!
瑞鳳っ、
そろそろっ...

いいよっ...
全部出してね

メチャクチャ



じゃ、遠出とかも
できちゃったり
する?



良かった...

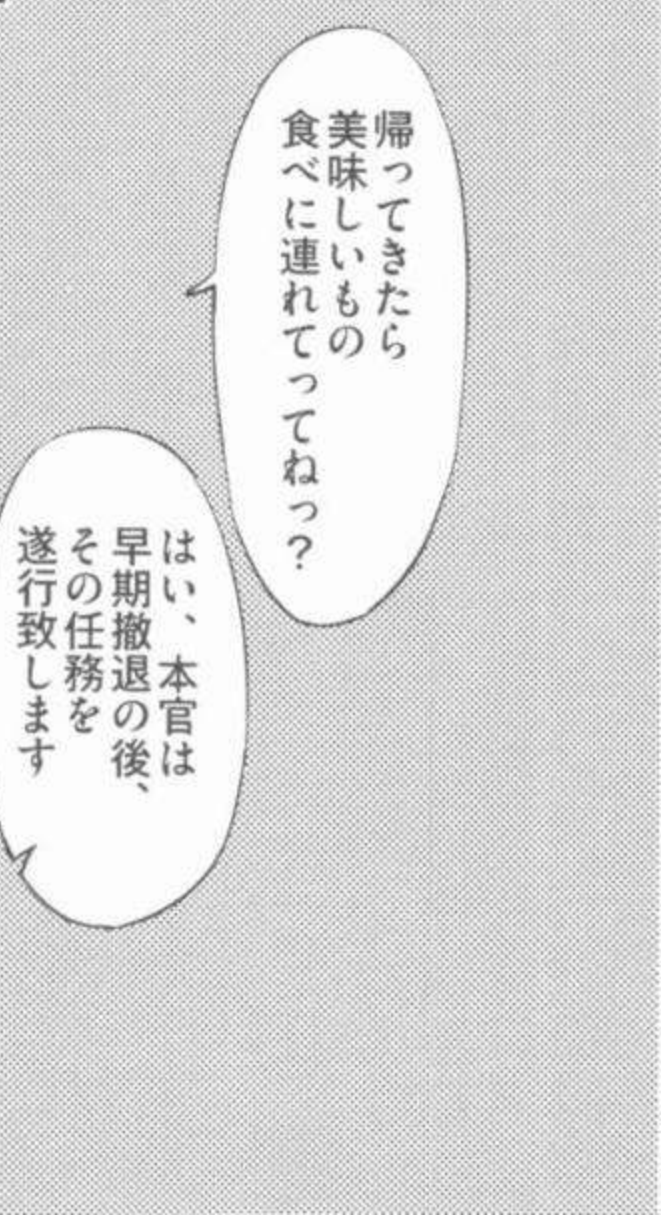
はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ



それじゃ、その間
お留守番しちやいますか

またそそんな
言い方して……

ははっ……厳しいが
いい人だよ
その厳しすぎるのが
苦手なの

私はいいかな
元帥さん 苦手だし

明日は完了の報告に
本部に出かけるから
……お前もどうだ？

帰ってきたら
美味しいもの
食べに連れてってねっ？

はい、本官は
早期撤退の後、
その任務を
遂行致します

と、言っても
平和なのは
いいんだけど
ヒマなのよねえ……



いい天気ねえ……

提督がいけないから
演習もできないし

誰か誘って
散歩でもしようかな



って龍驤!?!?
昼間から何して……

それに関係者じゃない人
鎮守府に入れちゃダメでしょ!



あら、何の音?





それで今日は
会えるのかな？
その……
瑞鳳って子



どうなの？
龍驥君



勿論やで……っ
だからっ

後生やからっ…

えっ、私っ……？



いくら彼氏さん
だからってそんな事……

龍驥ってば気が
抜けすぎじゃないのっ？



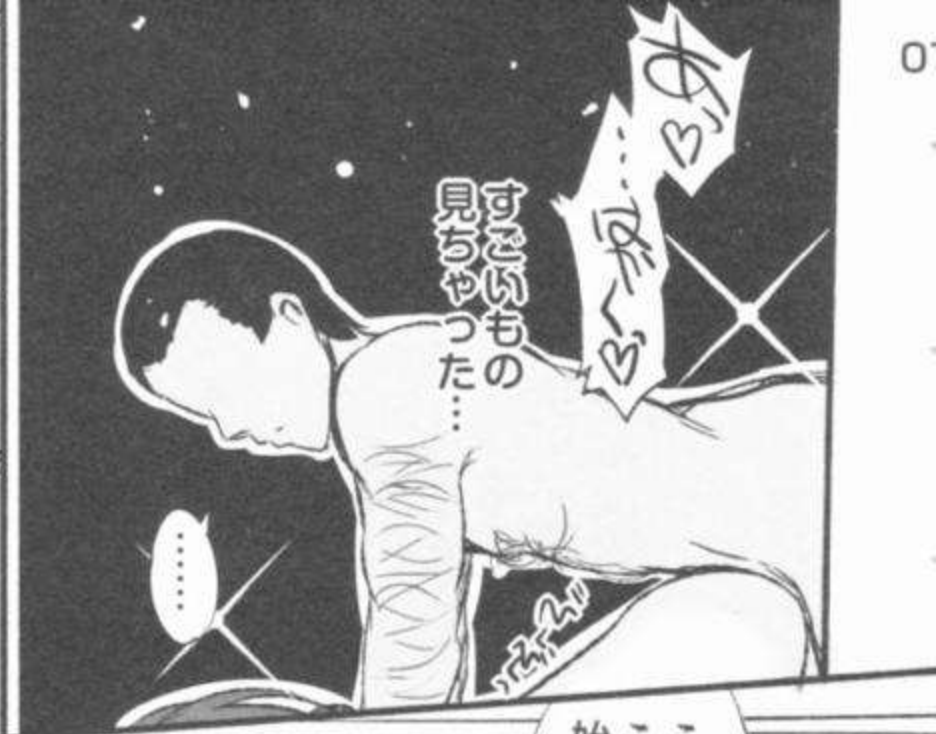
解った
解った
お礼はちゃんと
してあげないとね

あ……はあっ……



次、思いつきり
突くからそれで
イクんだよ

こ、この後どういう
反応すればいいのよお……



すごいもの
見ちゃった……

こちら、最近本土から来て
この島で和食屋
始めた人なんやけど



……
どしたん
ずほ

どうも、初めまして
噂は龍驥君から
聞いてますよ

どうしよう……
と、とりあえず
何か言わないと
まずいわよねと……



何言うとりん……
色ボケし過ぎや

えっ……



あの、龍驥の
彼氏さん……ですか？

はあ……



—帰ったよ、鳳翔



あれが奥さんの
鳳翔さん、結構昔
艦娘だったんだってさ

ええっ……？

えっ……そりゃあるよ…
さっきのは……



あら、お帰りなさい
……あなた



ホントな……
しやつきりせや

龍驥……と、その…
シてたのって…

あは……



なんか…
私、早とちり
しちゃったみたいねえ



この島を
平和にしてくれた
お礼といつては
なんだけど……
ご馳走させて頂戴

そういう事ね
でも本題はこっち

わ、ポン酒やん！
久々に見たわ



昔、あなたの提督には
お世話になった事も
あるのよ？

ああ……それで
旦那さんが
挨拶に……



でもこの人が……

初めまして、
妻の鳳翔です
話は聞いていたわ



ほ、本当に
こつこつと
あるんだ……

オトナの
関係ってヤツ
なのかな……



コレ、私が一番緊張
してるじゃない……

あ、あの……
夜には帰らないと
いけないんで
そんなには……

そうだったのか、
連れて来て
悪い事をしたね

勿論、構わないわ
一杯だけでも
いいから、ね？

解りました……

なんで、龍驤と
この人は平気な顔で
いられるのよお……



ええいへとにかく
一杯飲んでおつまみ食べて
早期撤退するんだから……

お、イける口かね
瑞鳳君は

あ、美味しい……

これは楽しく
なりそうだ



あれ……今、何時
つていうか
ここどこかな……

畳だから、私の
部屋じゃないし

1
おお……目が
覚めた様だね



なっ、何っ
何なのよおっ……



やっと倒れたと
思ったらそれから
起きるまでが長いし

艦娘相手は
分量が難しいね

えっ……

龍驤君、
どうだ？



なっ……何これっ
また龍驤が……

少し待っていてくれ
こっちを終わらせるから



ウチ、もうダメっ……！
ダメになっちゃ……

ちよつと違うな……
龍驤君はとっくにダメに
なってたんだよ



ほらっ、ほら……
これでどうだい？
瑞鳳君にも
見てもらおう

うわっ……
滅茶苦茶にされて……
呻いて……



女の子って、あんな声
出ちゃうの……っ？



僕の女になった
時点でね

あ……
あ……
あ……



そうね

怖いっ……！
この人、何
考えてるのよお……



これこれ
絶対におかしいわ……

さて、と……
どうしようかな
どう思う鳳翔？



甘くて可愛い
女の子の匂い……

えっ……！
鳳翔さんどうしてっ

フフッ、
楽しみだわ……



まだ混ぜ物が
効いてますから抵抗は
余りできないんじゃないかしら

や、やめて
下さいッ！

何っ、何なのお……っ！
鳳翔さんまでっ……
みんな、おかしく
なってるのっ？



ひっ……は
離して……

そう言われると
余計に……ね

それじゃ、失礼して……
瑞鳳君はケツコン済み
だったね

うそっ、うそっ、うそっ!!
提督以外の男の人の手が……
私の身体に……

ガッ

グッ

グッ



いきなり当たり前
みたいに触ってっ……

提督とは経験が
あるだろうから……
龍驥君より楽そうだ

きん、気持ち悪らっ
何なのよ……

身体がまだ
鈍い内に脱がして
おかないとね……

ちよっとお酒飲んで
おつまみ食べた
だけなのにいっ……

しゅん

しゅん

きん

きん

こんな事になるなんて
ウソでしょ……

本当ね……
少し羨ましいわ

これで
歴戦の勇者
なんだから
驚くしかないよ

逃げないとな
私、この人に……

無理やりっ……
犯されちゃうっ……

凄くキレイな
肌だ……

ちゅちゅちゅちゅ……

怖いっ……
やめてえっ……

こっちの反応も
いいねえ

触った瞬間に
まわり付いて
柔らかく締める様な
動きだ……

ちゅちゅちゅちゅ……

やたっ……
触られちゃうっ……

提督に愛されたのを
身体が覚えている
のかな？

多分、昨日も
愛されてるね

あら、
お盛んなのね

そうみたいだ……
可愛い顔でする事は
している様だ

何でそんな事が……
解るのっ……

ど、どうして……
こんな事をするのっ……

今やめる……なら
黙っておきますから……

それは
できないわ……

な、何を言ッて……

この人に
愛されれば
解るわ……

鳳翔、啜えて
濡らしてくれ

あーん

っ！あんな顔の
近くに男の人の……が……

あなたは女の悦びを
ちやあんと
教えてあげる為に
必要な事なの

これは



食へばいい...口...

あんな事が
できるなんて...

はあ



はあ

はあ

はあ



鳳翔、もういいよ
それ以上されたら
保たなくなりそうだ

はあ



律儀な人ね

力が...せんせん
入らないっ...

はあ



あなた、一晩中何度も
出来るじゃないですか...

今日はいいかかな...
約束がある様だから
夜の内には
帰してあげたいからね

熱だけが異様に
伝わってきて…



…ん…ん…ん…

どうして
こんな事につ

思ったより
全然スムーズに
根元まで…



ほら、瑞鳳君
入っていくよ

っと…
これはこれは

私…
悪い事なんか
してないのに
なんで…



驚いた、提督も
相当良いモノを
持っている
みたいだね

んんん

んんん



こんな
きついのは…

これから
挽回するよ

自信、
なくしました？

提督と違ってっ……
無理やり身体を
潰すみたいにい
揺すつてきて……っ！

近くで魚雷が
爆発した時みたいに
お腹がっ震えるっ

まあ、コレなら
最初から
強めにしても
大丈夫そうだね
ほら、どうだい？

こういうのは
あまり慣れてない
みたいだね
とても優しく
抱かれてる様だ

瑞鳳君の王子様は
扱い方も解ってるね

イヤっ、
いやあっ！

こんなに小さくて
可愛いんだ……

身体っ
壊されちゃっ……

声が詰まっ……
変にっ……

それは
当然だろうね



ごめんね提督
ちよっと
お誘いがあったね

お帰り、ちよっと
遅かったんじゃないか

ガ
キ
ン



龍驤から和食の
お店やってる鳳翔さんを
紹介されてね……
提督の知り合いだって

ああ、鳳翔か……
元気にしてたか？

……そうか

うん



ご飯はそこで
ご馳走になったから
お外で食べるのは
明日にしましょう

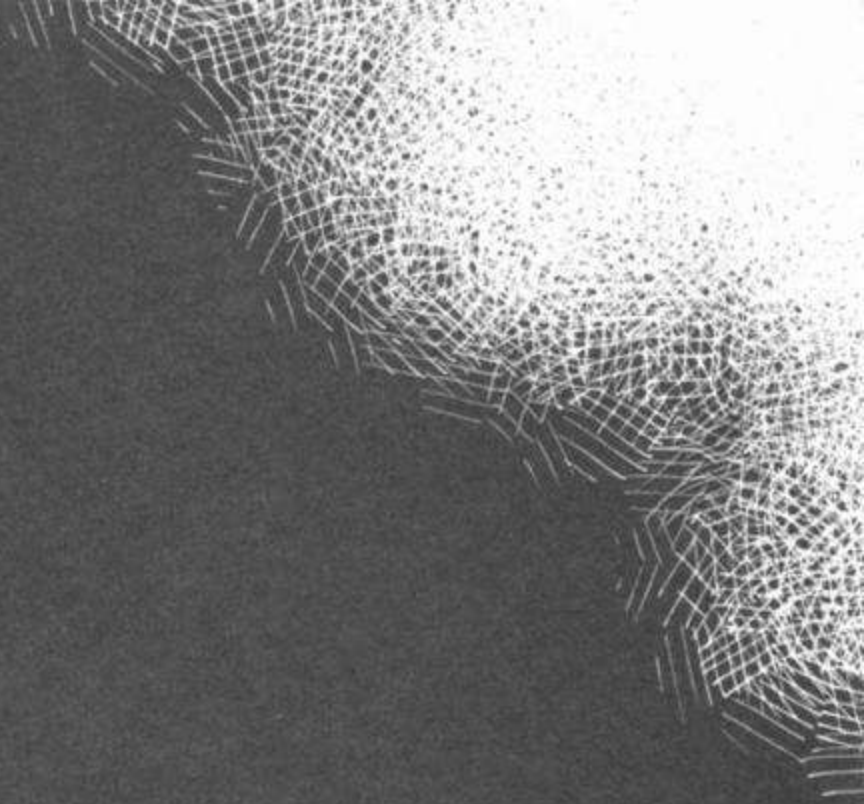
解った

フ
ッ

フ
ッ

フ
ッ





AND THEN NOTHING





1-2



本当は落ち着くまで
待とうと思ってたんだが

皆が早くやれ、と
うるさいし……

貯えもそこまで
無いから色々使ったら
会場は食堂位しか
選択肢がなあ……

ううん……
いいの



提督も良く
隠し通せたね……

ずっと秘書艦だったのに
全然気付かなかった……

皆の協力に感謝だ
艦娘より内偵に
向いてるかもな

……それで
どうだ瑞鳳？
驚いたか……



でも……
本当に、ありがとね

もう、色々
突然すぎて
解らないけど……



やめっ……

その話は
やめてっ……

——その後は
最前線から引かされて
少数の艦娘とこの島を守る
任務に就いてるみたい



長年、前線で貢献した
みただから
上層部の心遣いね

こんな……
されちゃってる時にっ

やめっ……！
やめっ……！

なるほどね

思い出したく
ないよあつ……



それなら暇な時間も多そうだし、僕にも好都合だ

解ったのはそれ位かな？

ええ、この娘から聞いた事と、昔の経験を照らし合わせてもこれ位が限界ですね

十分だよ、鳳翔

じゃあ、なんでこんな事するのよおっ



そもそも聞き出した情報があるわけじゃないから

目の前の瑞鳳君に集中するのが一番の様だ

カクカク



後ろから突かれるといい反応をする……

僕の顔が見えない分繋がってる所に集中できるのかな？

後ろからでも大分身体が開いてきた様だね

カクカク



提督に抱かれてると
身体が勘違い
してるのかもね

ちがつ…
提督はっ…
こんな事したり
しないわよっ…!

は
あ
す



まだ喋る余裕が
あるのか…
凄い体力だね

何度も何度も
犯されるのは
耐えられるけどっ



鳳翔でもここまで
保つかな?
…益々気に入った

ただ、今日の所は
これ位にしようか

提督の話っ…
されるのイヤあっ…

!!!

最後だよっ……
そろっ!

!!

あぁ……

怖い……!

あぁ

避妊具越しに
熱が伝わってきて……
お腹に熱いのが来てるのに

身体に
寒気が走って
気持ち悪いっ……

あぁ
あぁ

あぁ

けどっ……
今日も終わった……

あぁ

あぁ
あぁ





明日は提督に
会わせて
くれるんだっけ？

私は大丈夫……

あと、十日間だけ
なんだから……

楽しみだね……
なんと……



これは一種の
惚気ですか

え、あ……
いやそういうつもりは
無かったんだが



——あなたは
この島の英雄の
ですからねえ

そんな事はないよ
たまたま運が
向いただけさ

また謙遜を



それに、瑞鳳さんは
本当に優秀ですから……
物覚えが本当にいい

ウチの鳳翔も
感心してましたよ

……そうですか

いやいや、
いいですよ



その優秀な娘に任せて
僕は気長に待ってた、
……それだけだ

こんなに楽な
仕事はないな

……もう



と、当然よ……
私事だけで部下を
優遇とかする様な
人じゃないんだから

大事にされている割に、
こじんまりとした
部屋だね

ここが瑞鳳君の
部屋か……

ヒヒヒヒ

カカカカ

ヒヒヒヒ

ヒヒヒヒ



長い時間こんな
えげつない玩具を
啜えてたら、
当たり前か

アッ
アッ



ふむ、
そういうものか

今日は今までより
昂ぶってるね

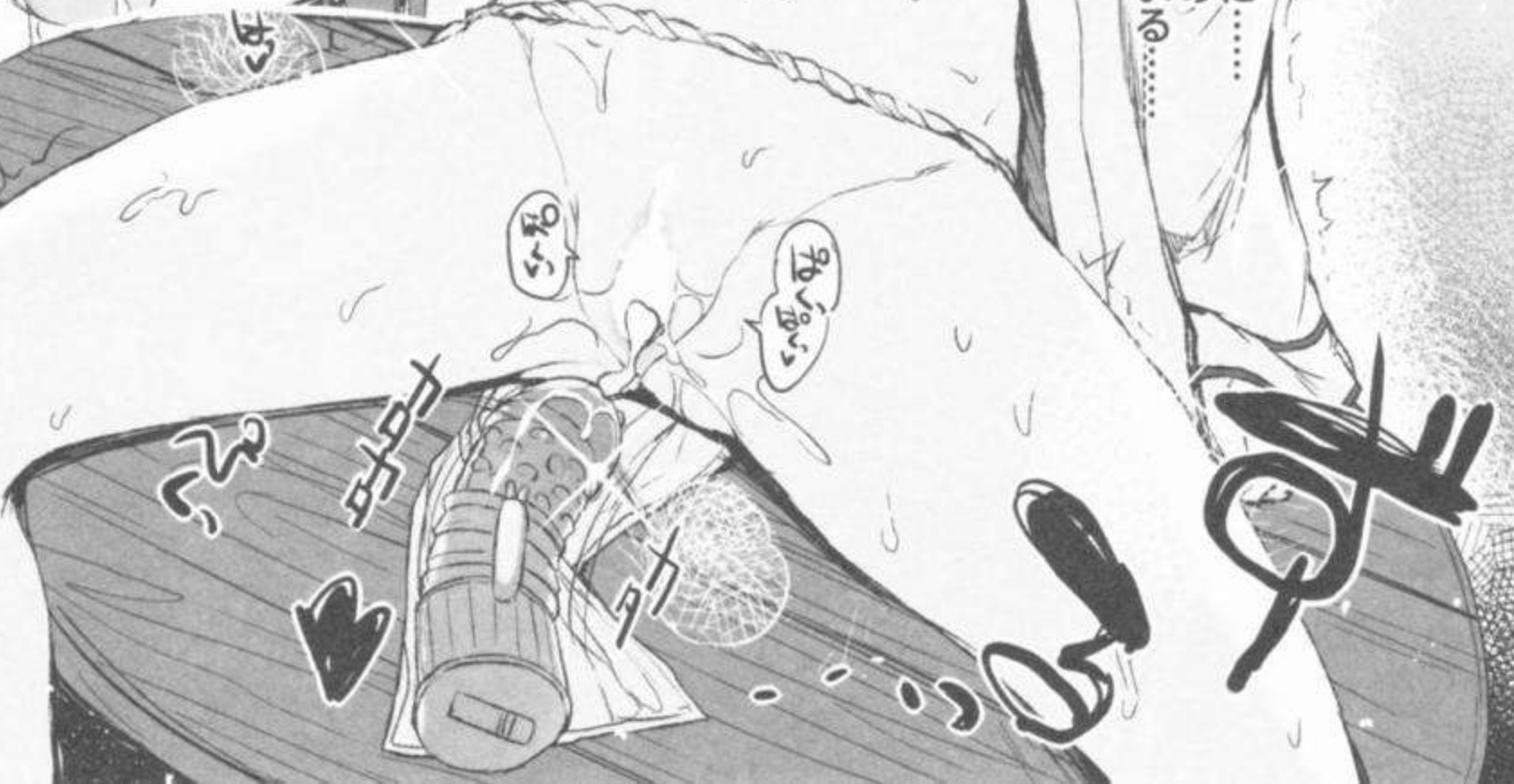
それだけじゃ、
なさそうだけど

私の部屋に……
提督以外の
男の人がいる……



アッ
アッ

酷い違和感……



アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ



そうじゃなきや
最初からこんなにならな
いよ

イヤらしい
女の子だね……

瑞鳳君、
興奮したんだろう？

提督に隠れて
玩具を楽しんで

その上別の男に
自分の部屋で
抱かれる……

おっ……♡

そんな事つ
とにかく私は
バシたたく
だけ……



大丈夫……
解るよ、僕も凄く
興奮してるからね

こんな、私の事
好き勝手言つてっ……

何なのよおっ

これからは
もうちよつと
凝った事をしよう

おっおっ

おっ……♡

おっ

おっ



その水着
似合ってるね……

司令官に
水着でも見せに
行ったんじゃない？

ま、見慣れてる
だろうけど

それから……
場所も時間も
選ばなくなってきた

いいからっ、
早く済ませて……



おーい敷波
づぼづぼは
どこ行った？

あれ、
知らないけど



一日に一度は
この男の人に
抱かれ続けた

いやあ、この身体を
好きにできる提督が
羨ましいよ

まー、下手に口出しして
邪魔したら悪いしなあ！



おっ、急に
締まってっ……！

折角見せるなら
もっとパリエーション
あっていいと思うけどね

私達が気にする
事じゃないし
まあ、いいんだけどさ

ちやんと外に
出してっ……

瑞鳳君には
こんな隠し玉が
あったのか……

それ以外でも
偶然はったり
出会った時でも
家に連れ込まれて

瑞鳳くん

こんな暑い日に
ランニングなんて
したら身体に
悪いよ?

こういう事の方が
悪いわよおっ!!



ああ……
なるほどね

はっ
はっ

それにっ……

演習だけじゃっ……
身体がなまっちゃやう
でしょっ

そのまま
何度も何度も……

それじゃ、運動を
手伝ってあげないかね





いあやっ……



だ、大丈夫か
瑞鳳……?



こんなっ……
すごいっ……
うんうんうんうん

ぐっ……
凄い締まって



また……こんなヘンタイみたいな事を考えてっ……



瑞鳳君
直接外の空気に触れながら、
というのでもいいだろうか？



こんな事っ……
したって何も
変わらないからっ……



成果って……



これは昨日と
反応が違うね



成果が出てきた
って所かな

瑞鳳君もノって
来たって所かな



あ...

それを一度身体が
覚えちゃうと...
簡単に.....

どうだい？

僕とだってそこに
持っていける

や、やだっ
提督とした
あの時と同じ感じっ.....

あ.....

前とは比べ物に
ならない位
いいだろう？

これっ...
いやあっ！

また、頭が
くらくらして変に
なってるわっ.....

あ.....

あ.....

あ.....

あ.....

あ.....

瑞鳳くん、落ち着いて
受け入れれば怖い事は
何も無いからね

あーっ

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

僕となら、
とても気持ちいい事
なのが解る筈だ

あーっ

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ

あーっ

ほら、お腹を
意識して……

あーっ
あーっ

あーっ

あーっ

あーっ
あーっ

あーっ

そろそろだね……
大丈夫、安心して

あーっ
あーっ

あーっ

同じだけどっ……
凄く大きいのがっ……

それっ！

あーっ
あーっ

あーっ



うそっ...

こんなのって...!!



私...こんなに弱かったのかな...

全然逆らえなかった...

ほら、ちゃんと気持ちよくなれただろう？

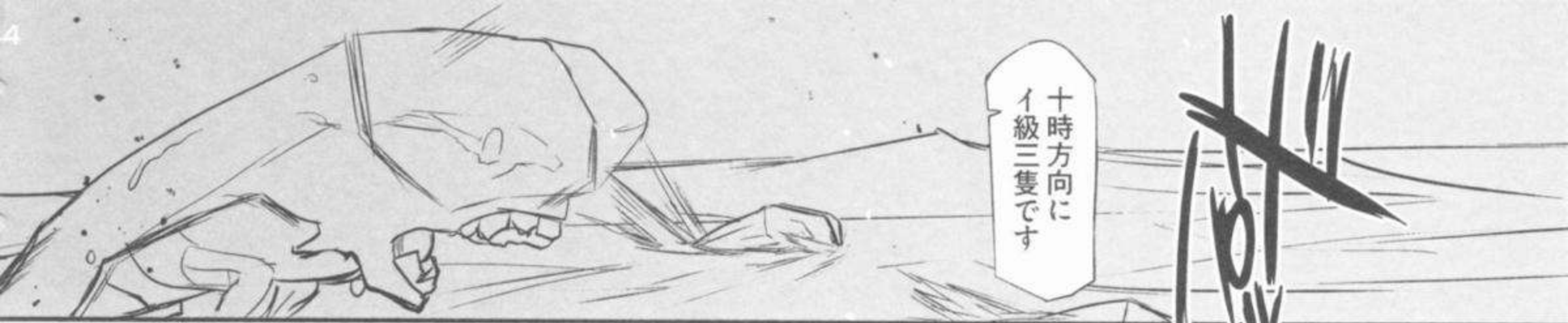


偉いよ、瑞鳳君

明日からもこれをたっぷり楽しもう



2-3



十時方向に
イ級三隻です



他には確認
できません
武装を見るに
恐らく他海域から
迷い込んだものかと

磯波ありがと

それじゃ、深雪
よろしく!

まかせとけっ!



……

こんな日に限って
朝から出撃なんて……



今日が最終日……

執務室、お風呂
色々な場所で、
散々されて

どついでに身体なのが、
イヤと言っただけ
教えられちゃった……

お尻
お尻
お尻

お尻
お尻
お尻



終わりなんだら……

でも、それも
今日で終わり……



……



くっ!

瑞鳳!

おい、づほ

づほ、そっち
行ったぞ……

瑞鳳!



ここまでお前が
やられたのは
久しぶりだな……

少し懐かしい位だ

提督、
ごめんなさい……

良かった
……いや、お前が
無事ならいいよ

くっ!

ぐっ!



入渠終わったら
気晴らしにどっか
出かけよう、な?

……?



女... 提督... 私、このままエッチしたいな...



まだ、昼だし... 仕事もあるから... じゃ... 後でな!



お、落ち着け瑞鳳、身体を大事にしてくれよ... いきなり過ぎて変だぞ!

近くで見ると
……思ったより
立派ねえ

最終日だから
奮発してみたんだけど
どうかな、瑞鳳君？

この島に僕が来たり、
リゾートホテルが建つ……
君達の功績だよ

本当なら君や提督は
口利きすれば無料でだって
泊まれるだろう

今は素性がバレたら
まずいだろうけどね

やめてよあつ……

渡した男の人に
抱かれる為に
こんな所に
来るなんて……

そういう格好も
魅力的だよ

……そろそろ
瑞鳳君も自覚が
あるんじゃないかな

何……？

身体が……
ひどく熱い

最初の時、
僕が龍驤君を抱いていたの
見てただろう？

その二人に
簡単に付いてきて
鳳翔と会って、
僕らの関係に気付いても

断りきれないで
気付いたら僕と
こうなってる

無警戒だね

答えなくてもいいよ……
君自身より僕の方が
ちゃんと解ってるからね

私、そっなの……
かなあつ……

……というより
この島の暮らしが
退屈過ぎて

僕らの関係が
刺激的な見世物に
見えたかな？

もう……自信が
ないよお……

これで瑞鳳君とは
最後なんだ、

は

あ

今日はゴム無しで
愛し合おう

や、やだっ……

私っ……た、助けてっ
凄くドキドキっ……

……嫌かな？

これまでだって
してきた事だからね

奥の奥まで直接触って
隅々まで可愛がって……

ぐずぐずになっても
何度だって……

ほら、言ってるだけで
身体が奥から
震えてきてるよ

もちろん外に
射精すから
安心して

いいね？

提督っ……！
てーとくっ……



……ってあら……



すみません、
まだ開店前で……



……後で来る、とは
聞いてますけど

ここで待ってて
下さいな



お久しぶりです
……提督
元気してましたか？



あ、ああ……

……その、瑞鳳
来てないか？

あら、今日はまだ
いらしてませんよ



何か予定が
ある様でしたよ

そうか……

提督にも秘密
なんてどんな事
なんでしょうね

カッ……



瑞鳳君が
こんな水着を
持ってたなんて

提督の為かな？

……きつと
盛り上がった
だろうね

そんな事
できるわけ……



こんな風に……

ああ……
入ってくるっ



ゆっくり、
形を合わせる
みたいに

私、提督じゃない
男の人を……
受け入れちゃってる



私にできるわけ
なかった……
提督はそういう人
じゃないから……

早く、
終わらせてねっ……
最後なんだから！

それは勿体無いよ、
最後までいいゆっくり
味わってほしいんじや
ないのかな……

こんなのっ... 私っ...!

もう少しで全部 入るよ... 最後のー押しだ

どうしたのかな 瑞鳳君?

なんで こんなに...

気持ち いいのよお...





そんな事つ...
ウツよおつ!

君は危ない事が
大好きなんだ...

悪い子だねえ
提督というものが
ありながら

こんなに
楽しんで



奥までっ...
串刺しにされるっ...
苦しいっ!

おは...
おは...
おは...



ムーッ...ムーッ...ムーッ...ムーッ...

ほんとに...でもっ
ほんとに

ほら、もっと
激しくしても
いいんだよ？

こんないやらしい
格好して...
凄く興奮して...っ！

こんな風に...っ！

ムーッ...ムーッ...ムーッ...



勢いが
ついたねえ

私は提督の
為のものなのに...

身体が...でもっ
止まらないよっ...



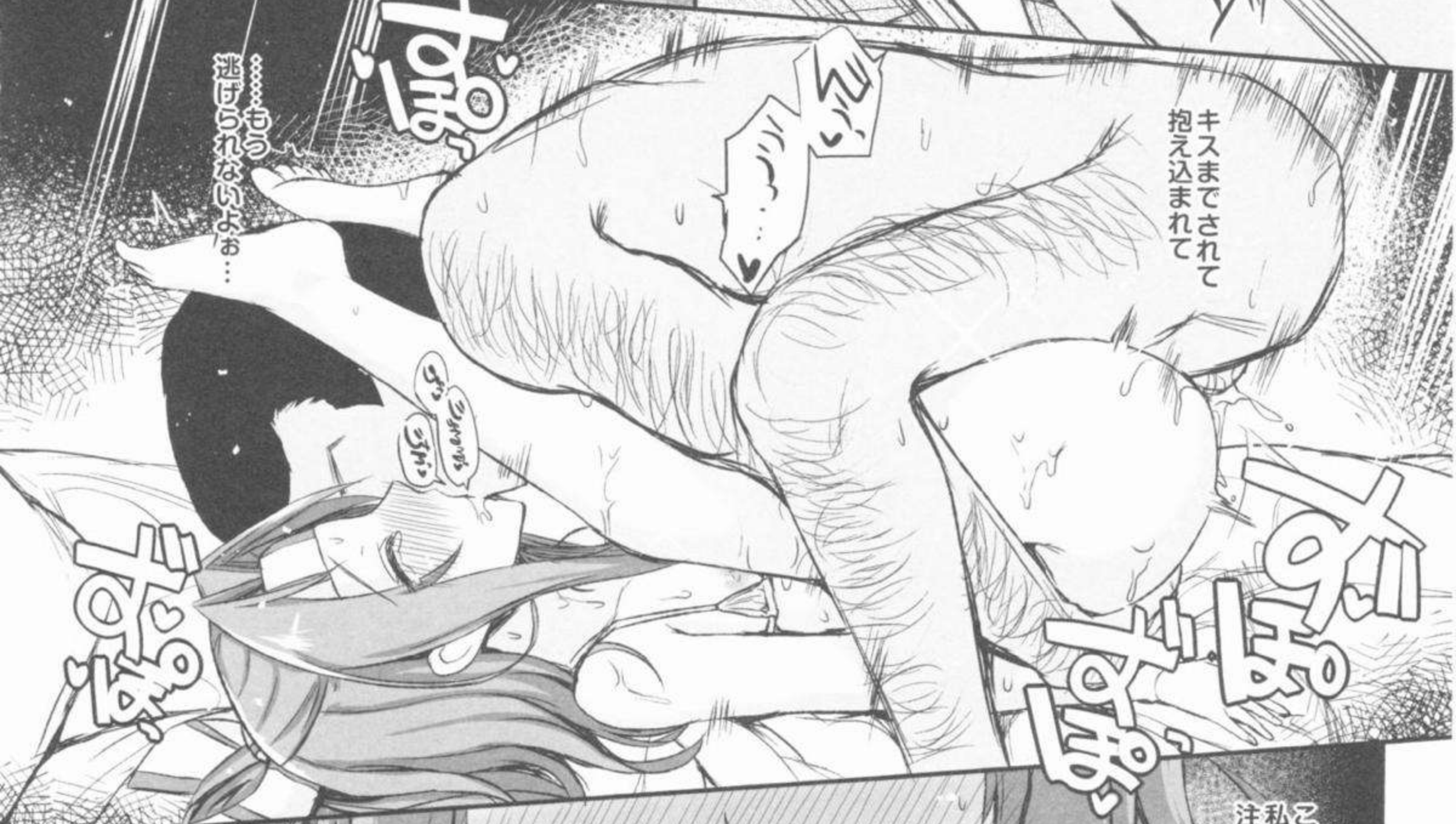
大丈夫…



そろそろ…
瑞鳳君、いいね…?



もうだめっ……



キスまでされて
抱え込まれて

……
逃げられなうらやあ……

この男の人のが…
私に全部
注ぎ込まれちゃう

許して……っ…



あ、熱いっ……

あ、熱いっ……

てーとんっ……
提督っ！

ほら、どんどん
射精してるのが
解るだろう？

あ、熱いっ……



絶対ダメなのが
沢山流れ込んで

奥の奥の
場所までっ……

あ、熱いっ……



瑞鳳君、
もう夜だよ…？

最後には自分から
求めて……

何も解らなく
なってる……

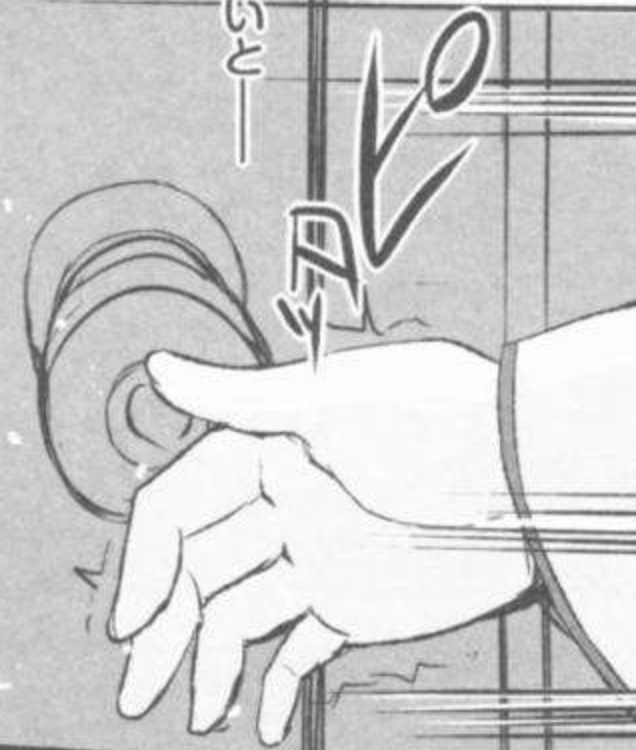
カッ
バッ
ズッ



——お疲れ様
瑞鳳君

カッ
バッ
ズッ

まず、謝らないと――



ケツコンカツコカリ、
でしたか？

私達の頃には
そんなもの
なくて……

けれど
悩む事じゃ……
なかったですね……

こんなに
簡単な事を



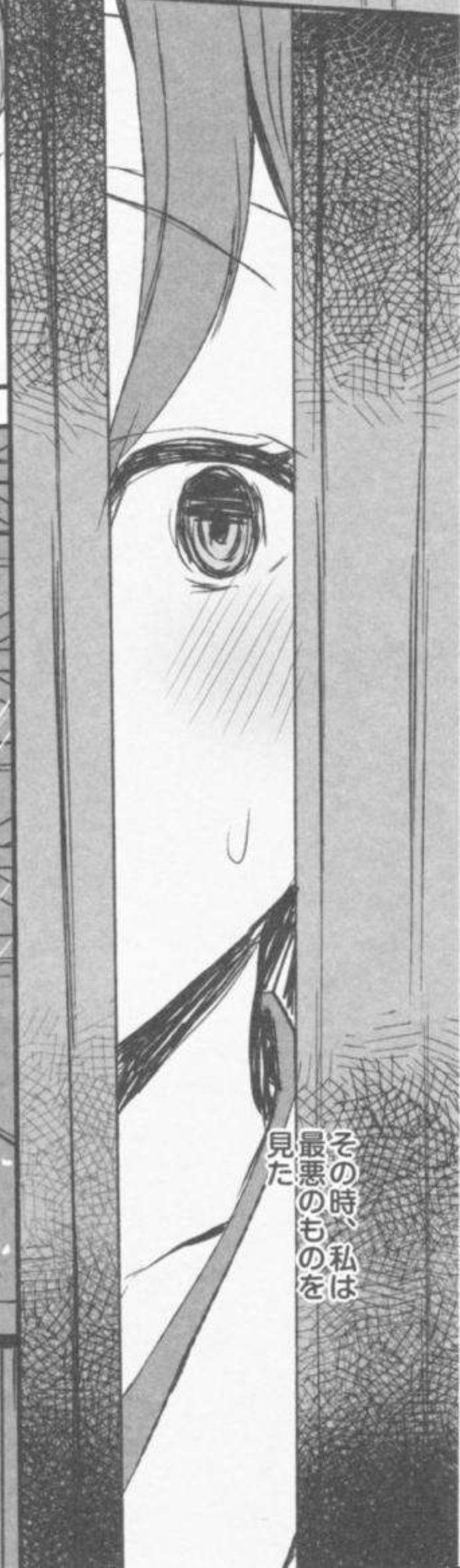
だけどあの時と
同じように
ドキドキして……

鳳翔……

提督、もっと
触って下さい……



その時、私は
最悪のものを
見た



身体が……嬉しくて、
震えた気がした



INST
ADULT ONLY

TITLE : AND THEN NOTHING
CIRCLE : INST
AUTHOR : Interstellar
DATE : 16/09/15
PRINT : Kanazawa printing Co.,Ltd.
WEB : <http://instovdr.sakura.ne.jp/>
MAIL : instovdr@hotmail.com